

**ローカル5Gに係る
東京大学・東京都・NTT東日本の連携協定
報道資料**

東京大学 中尾彰宏

ローカル5Gに係る三者協定における東京大学の役割

東京大学では、多様な学問分野における最先端の成果を還元することを通して、社会の公共財としての大学の役割を果たしていく観点から、地域連携・社会貢献活動に取り組んでいます。

東京都・NTT東日本・東京大学の三者が最先端の情報通信技術の一つであるローカル5Gを活用する連携・協力の協定書を締結することにより、東京都において、(1)産業振興や地域課題の解決、(2)情報通信技術の利活用に係る技術交流及び学術交流の促進、が期待されます。

同時に、東京大学では、(1)東京都を実証実験のフィールドとして最先端技術の適用性・有益性を確認、(2)東京都における産業振興や地域課題の解決に資する東京大学の基礎的な技術研究の加速、が期待されます。

三者が産学官の立場で相互に連携することで、より多様なプレーヤーとユースケースの共創を推進すると共に、東京都エリアでのローカル5Gの普及による地域課題解決と産業振興と新たな価値創造による経済発展を共に進める予定です。

ローカル5Gに係る東京大学・東京都・NTT東日本の連携協定の意義



社会の「公共財」である大学
多様な学問分野における最先端の成果を還元する役割
大学全体で地域連携・社会貢献に取り組む



「ローカル5Gオープンラボ」
(2019年10月報道発表)

多様なプレイヤーとユースケースの共創
コスト効率・柔軟性の高い基盤技術研究開発



東京都と大学との定例懇談会

東京都および都内の大学が、
今後の政策連携を視野に、
恒常的なコミュニケーションの場を形成

ローカル5Gを含む

最先端の情報通信技術により

- (1) 東京都の産業振興・地域課題解決
- (2) 技術・学術交流

東京都を実証実験のフィールドとし

- (1) 技術の適用性・有用性を確認
- (2) 東京大学の基礎的な技術研究の加速



三者の連携協定により、東京都エリアでのローカル5Gの普及による

地域課題解決と産業振興と新たな価値創造による経済発展を推進

→我が国全体で進むローカル5Gの施策の先行・成功モデルケースとなることを期待

